

# 明治大学学部間共通総合講座 「図書館活用法」の実践

- 教育学習支援機能としての図書館 -

2006.10.11 (会場:大阪大学)

明治大学図書館

飯澤 文夫

2006.11.8 (会場:国立情報学研究所)

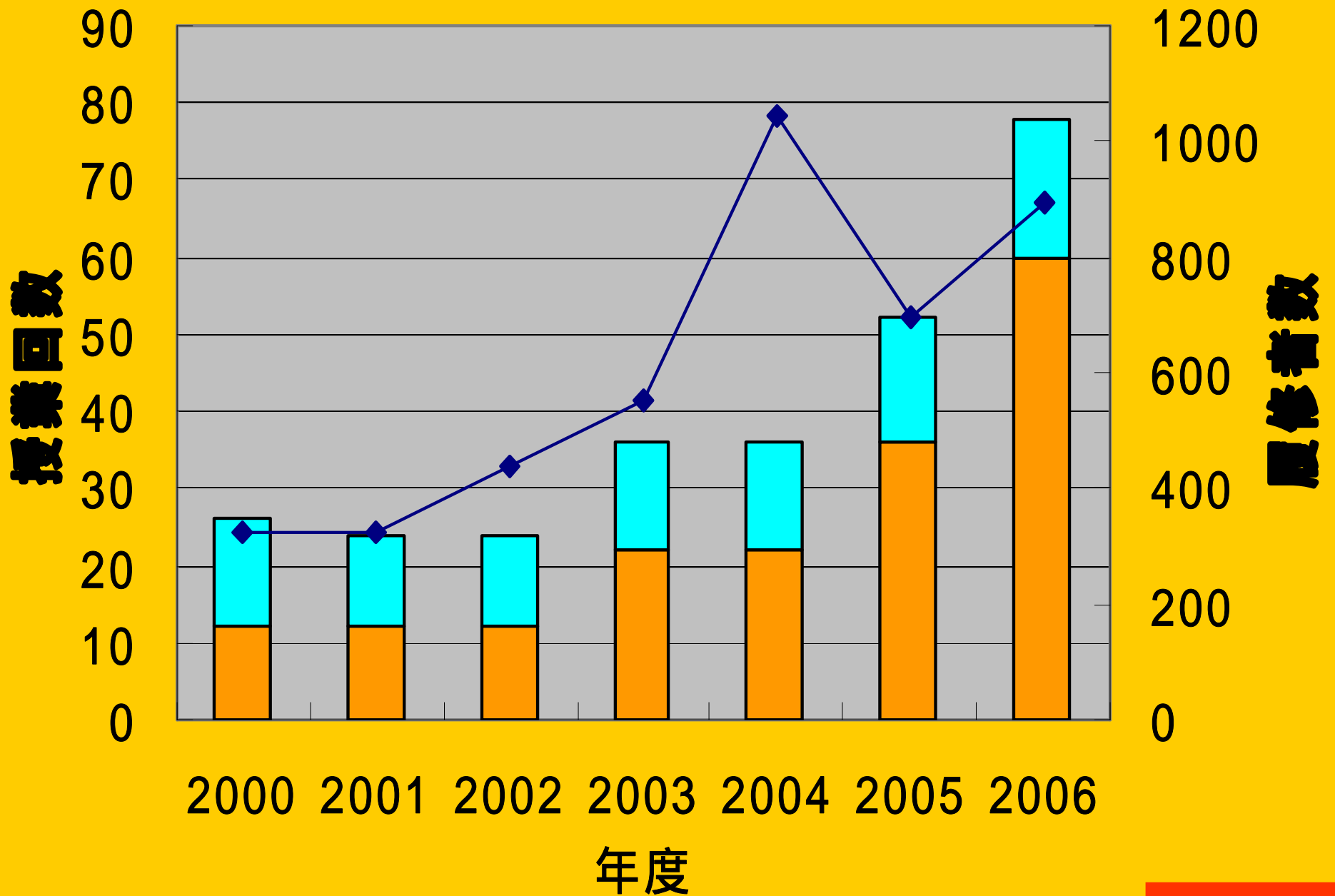
明治大学図書館副館長

広沢 絵里子

# 1 「図書館活用法」とは

(2000年度開設)

- (1) 図書館リテラシーの導入教育  
(主に1、2年次)
- (2) 単位認定  
(半期13～15回、2単位)
- (3) 図書館でカリキュラム作成  
(コーディネータの指導)
- (4) 図書館員が出講  
(教員との協働)



図書館員担当
  教員担当
  ◆ 履修者数

資料1

## 2 図書館活用開設の背景

- (1) 使ってもらえる図書館
- (2) 使い勝手の良い図書館
- (3) 行きたくなる図書館
- (4) 開かれた図書館



# 使ってもらえる図書館



新入生  
ガイダンス

ゼミツアー

個人ツアー

各種講習会

## 3 開設の経緯と手続き

### (1) 経緯

#### 図書館スタッフ研修会による議論

館長、副館長、図書委員、部課長、  
事務スタッフによる政策会議体

- ・ 学生の活字離れ、貸出し数の低迷
- ・ 高度情報化 情報格差
- ・ 図書館の教育・学習支援機能
- ・ 図書館リテラシーへの組織的対応
- ・ 図書館員の使命と業務能力の向上



## (2) 学部間共通総合講座

- 文理の壁を越え、知の旅へ -

- ・ 教育理念  
個性を大切にし自立心の強い人材を育成
- ・ 1995年開設
- ・ 学部、学年を越えた学際的講義
- ・ 幅広い学問的視野、問題発見能力、判断力を培う
- ・ 学内外から専門のゲスト講師



# 学部間共通総合講座の体系

- (1) 地球市民講座
- (2) 技術戦略とビジネス講座
- (3) 現代メディア講座
- (4) キャリアデザイン講座
  - ・ あなたの将来設計
  - ・ 会計監査法人寄附講座
  - ・ 図書館活用法
- (5) 歴史・哲学講座



## (3) 手続き

### 図書館

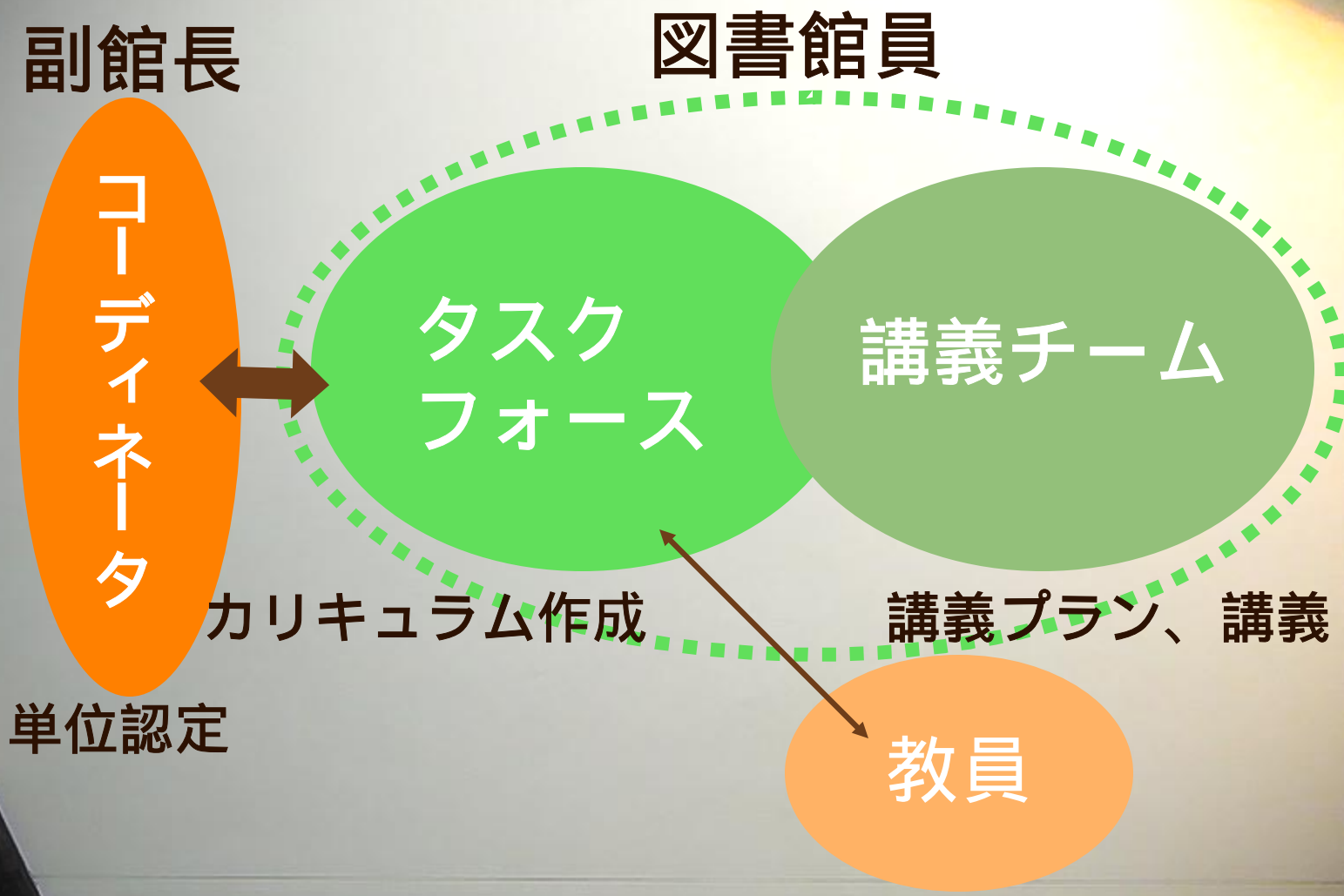
事務部課長会  
図書委員会

### 学内

学部間共通科目運営委員会  
教務部委員会

コーディネータ所属学部教授会  
講師（図書館員）人事決定

## 4 教員と図書館員の連携



コーディネータ

講座責任者

講師推薦

講義

レポート課題作成

採点、単位認定

専任教員（副館長）



タスク  
フォース

図書館  
業務責任者

全体マネジメント

カリキュラム作成

資料3

シラバス執筆

資料4

講義チームリーダー

科目間調整

講義チーム

ベテラン+若手

講義プラン作成

レベル合わせ

講義

・活用  
スキル  
(実習)



教員

## 講義

- ・ 図書館、書物への誘い
- ・ 論文指導法





## 5 成績評価

### (1) 出席重視

遅刻 3 回で欠席 1 回

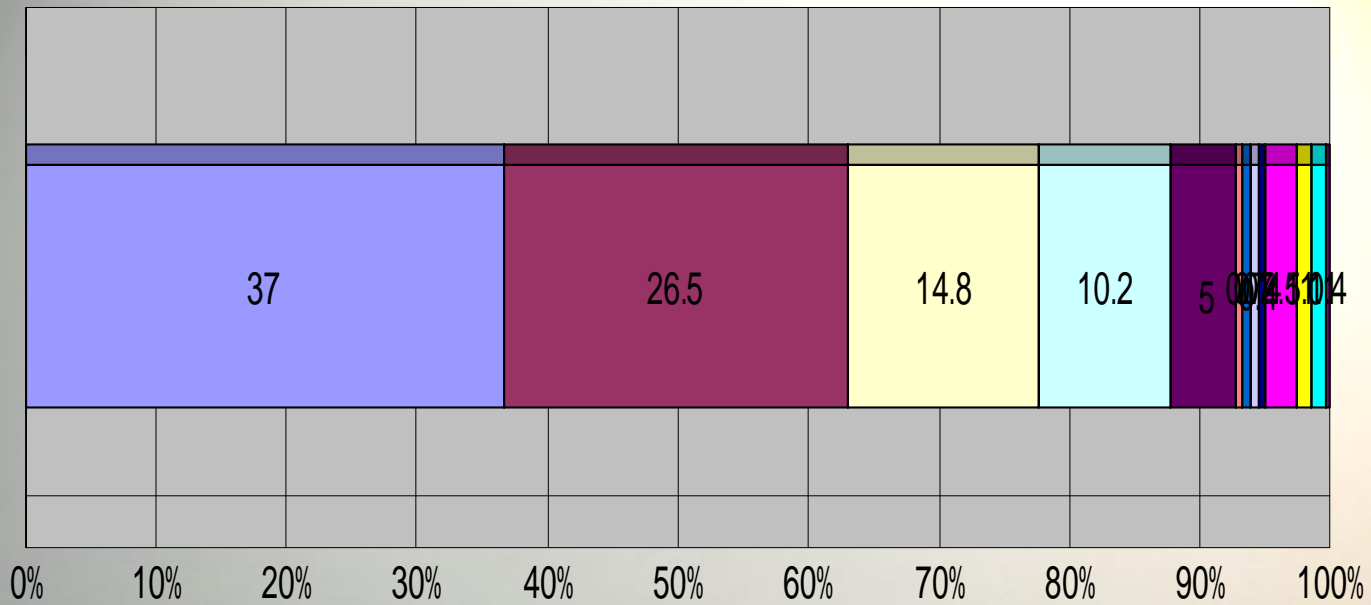
最低 7 回 (全13回) の出席

### (2) レポート

講義で学んだスキルをすべて  
駆使する

資料5

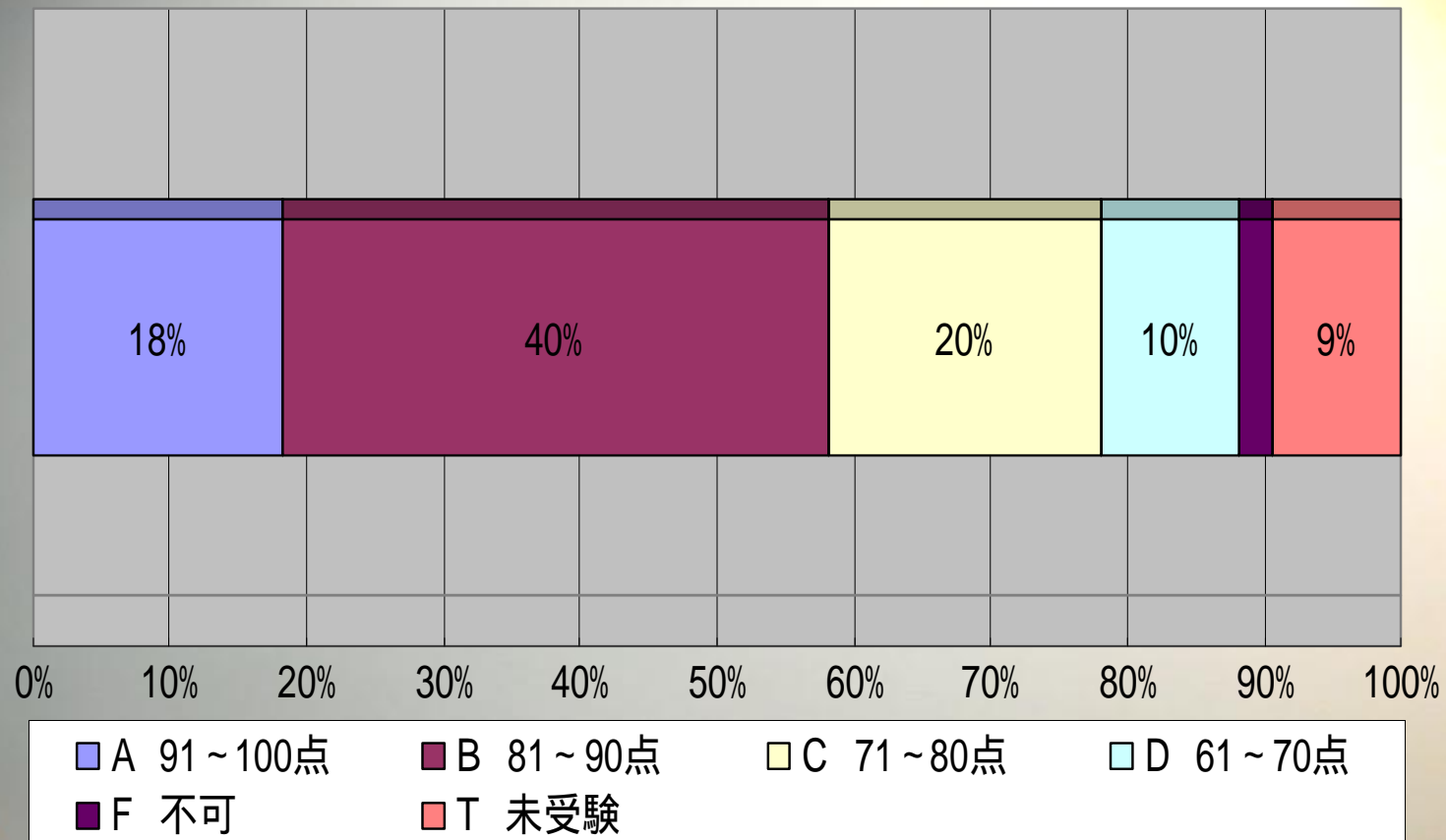
# 出席率



■ 13回 ■ 12回 ■ 11回 ■ 10回 ■ 9回 ■ 8回 ■ 7回 ■ 6回 ■ 5回 ■ 4回 ■ 3回 ■ 2回 ■ 1回

2006年度和泉校舎前期（3、4時限）

# 成績



2006年度和泉校舎前期（3、4時限）



## 6 成果

図書、雑誌・新聞記事、  
論文等の資料検索

資料1

O P A C

データベース、外部データ  
ベース利用

レポート・論文の書き方

資料6

## 7 授業評価

Q6 . この授業を100点満点で総合評価すると、あなたの評価点は何点ですか。

年度	駿河台	和泉前期		和泉後期		生田
		3時限	4時限	3時限	4時限	
2005	82.4	65		65.3		73.1
2006	72.7	69.7	61.4			

資料7

## 8 課題と展望

### (1) 成果の検証

何が、どう変わったのか

量的把握

質的把握



## (2) 教員との連携強化

教育・学習支援機能として  
ゼミ、教員との連携強化  
履修前後の追跡調査

## (3) カリキュラムの改善

導入-応用

## (4) 授業形態の改善

少人数教育      全員教育  
教室環境

## (5) 図書館員が授業を行うことの 意義と問題点

### 問題点

- ・ 抵抗感（館内、学内）
- ・ 負担感

45名中28名が出講、1～8回

- ・ 授業力（不慣れ）

## 意義

- ・ 現場感覚、スキル
- ・ 人材育成

図書館員の役割

専門職

司書課程兼任講師

夏期司書講習講師



図書館カレンダー

中央 | 和泉 | 生田 | 山手線コンソーシアム

利用案内

貸出 | 返却 | 延長

ポータルサービス  
SDI/雑誌アラートサービス  
FAQ (よくある質問と回答)  
山手線コンソーシアム(学内用)  
杉並区図書館ネットワーク(学内用)  
神奈川県内大学図書館相互利用  
フロアマップ  
ローライブラリー

山手線コンソーシアム加盟館の方  
総合研究大学院大学・リズ大学の大学院生  
杉並区図書館ネットワーク協定校の方  
卒業生(校友) 附属校生徒  
明大カード・リバティエアカデミー・知的資産センター 会員  
千代田区・杉並区・多摩区の住民の方  
他大学・一般の方へ(上記以外)  
図書館へのアクセス



★携帯電話用ページ★  
2次元コード(QRコード)  
対応の機種はこのコード  
で接続できます。

新着情報(図書館ニュース)

- ・2006-08-04 全館 圖書の譜 - 明治大学図書館紀要 - 第11号原稿募集
- ・2006-07-25 全館 JDreamIIに新機能を追加
- ・2006-07-25 中央 夏期休暇中の開館時間等の変更について
- ・2006-07-24 和泉 夏期休業期間の開館について(和泉図書館)
- ・2006-07-15 中央 夏期休暇中の休館日のお知らせ(中央図書館)
- ・2006-07-12 全館 夏期休暇中のオンラインサービス停止のお知らせ
- ・2006-07-07 全館 夏期長期貸出のお知らせ
- ・2006-06-21 全館 故倉橋由美子氏に「明治大学特別功労賞」を贈呈
- ・2006-06-02 生田 神奈川県内大学図書館相互利用



中央図書館企画展示「圖書の文化史」開催中! 『詩篇集零葉 鐘を演奏するダビデ王』

データベース

外部データベース一覧  
電子ジャーナル一覧  
CD-ROM資料一覧 貴重書画像DB

情報の探し方

OPAC(蔵書検索)の使い方  
雑誌論文 新聞記事 法律情報  
学位論文 新聞リスト 紀要リスト  
レファレンスツール利用法

OPEN! Library

図書館活用法 | 刊行物 | 展示情報 | 蘆田文庫コレクション | 意見要望の回答

明治大学ホームページ | サイトマップ | プライバシーポリシー | お問い合わせ

(6) ユビキタスに向けて

■2006年度

◆図書館活用法 (駿河台/前期/木曜2限)駿河台・前期末レポート(pdf)

- 4/13 「大学図書館への招待」 広沢絵里子(商学部教授)
- 4/20 「図書の歴史と図書館」 佐伯正(整理課長) [資料\(pdf\)](#)
- 4/27 「明大図書館の施設・蔵書・サービス -中央図書館を中心に- 」 浮塚利夫(総合サービス課長) [資料\(pdf\)](#)
- 5/11 「図書による情報の探し方」 久保木和義(総合サービス課) [資料\(pdf\)](#)
- 5/18 「書物の愉しみ -彩飾写本と稀覯本との出会い-」森 洋子(理工学部教授)
- 5/25 「図書情報の探し方(1)【実習】」梅田順一(図書館庶務課)、西脇亜由子(総合サービス課) [資料\(pdf\)](#) [課題\(pdf\)](#)
- 6/1 「図書情報の探し方(2)【実習】」梅田順一(図書館庶務課)、西脇亜由子(総合サービス課) [資料\(pdf\)](#) [課題\(pdf\)](#)
- 6/8 「新聞・雑誌情報の探し方(1)」平田さくら(総合サービス課) [資料\(pdf\)](#)
- 6/15 「新聞・雑誌情報の探し方(2)【実習】」平田さくら、飯塚貴子(図書館庶務課)
- 6/22 「インターネット情報の探し方(1)」菊池亮一(和泉システム課)[資料\(html\)](#)/[資料\(pdf\)](#)
- 6/29 「インターネット情報の探し方(2)【実習】」菊池亮一(和泉システム課)、丸山郁太郎(図書館庶務課)[資料\(html\)](#)/[資料\(pdf\)](#)
- 7/6 「図書館と著作権」飯澤文夫(図書館庶務課長)[資料\(pdf\)](#)
- 7/13 「レポート・論文の書き方」広沢絵里子(商学部教授)[資料\(pdf\)](#)

## 図書による情報の探し方

図書館活用法(駿河台・前期)第4講  
2006-05-11

図書館総合サービス課 久保木 和義

### 今回のテーマについて

- 図書による情報の探し方  
= レファレンス・ブックによる情報の探し方
- 図書館の機能の一つ「調べる」
  - 大きな役割を果たしているのがレファレンス・ブック

### レファレンス・ブックとは

- Reference Books = 参考図書
- 特定の知識・情報を《調べる》ための図書
  - レファレンス・ツールと言った場合は、CD-ROM、DVDやインターネット上の情報なども含むと考えよう

### レファレンス・ブックとは(画像)

百科事典







contents

トップページ

プロジェクトの趣旨

推進体制

著作権・使用範囲

教材コンテンツ一覧

ロゴについて

トピックス

FAQ

コンテンツショーケース

[トップページ](#) > [教材コンテンツ一覧](#)

## 教材コンテンツ一覧

※公開制限によって、コンテンツにアクセスできないことがあります。各コンテンツの「利用規定マーク」をお確かめください。

2ページ中の1ページ目を表示。

[>>次のページへ](#)



C04法001S

[囚人のジレンマ授業シミュレーション](#)

ゲーム理論の典型的な問題「囚人のジレンマ」の教室シミュレーションの実施を支援するための説明資料と教室実験の集計プログラムを、Web教材として開発しました。

[利用の手引きへ](#) | [コンテンツへ](#)

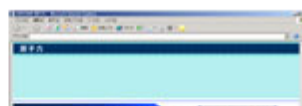


C05法008C

[物質と宇宙](#)

「物質と宇宙」という授業では、宇宙の起源や構造について現代の科学が明らかになっていることを話します。この授業で使用する画像やグラフをデジタル化したものです。授業の際に教室で提示し説明します。

[利用の手引きへ](#) | [コンテンツへ](#)



C05法009C

[原子力](#)

原子力の問題を考えるための基礎知識を解説する「物理学I」(商学部・経営学部)の授

図書館 図書館活用法 - Microsoft Internet Explorer

編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

検索 お気に入り 履歴

http://design.kogado.com/meijiuniv/public/C06850011/C06850011.html

整理...

カレンダー

学

JAPAN

学図書館

Meiji

古本屋

TOWN じんぼう

URL富士通パソコン情報...

OME TO MICROSOFT

ステーション ガイド

堂書店

会図書館

t

:

ルチ)

パスワード sakura

n



# 図書館活用法

図書館活用法デジタルコンテンツ

- ▼ 第一回講義
- ▼ 第二回講義
- ▼ 第三回講義

図書館ガイドツアー

- ▼ 中央図書館 [オートモード](#) [マニュアルモード](#)
- ▼ 和泉図書館 [オートモード](#) [マニュアルモード](#)
- ▼ 生田図書館 [オートモード](#) [マニュアルモード](#)

画面のヘルプ



Copyright (C) 2006 Meiji University. All Rights Reserved.

学外でも  閲覧 OK



お気に入り

追加... 整理...

- メディア
- Yahoo! カレンダー
- .isa
- 明治大学
- Yahoo! JAPAN
- 明治大学図書館
- Oh-o! Meiji
- MICS
- 日本の古本屋
- BOOK TOWN じんぼう
- FM WORLD富士通パソコン情報...
- MSN
- WELCOME TO MICROSOFT
- ラジオステーションガイド
- ジュンク堂書店
- DTI
- 国立国会図書館
- Webcat
- 三省堂
- 翻訳
- 翻訳(マルチ)
- 3ale パスワード sakura
- リンク
- Amazon



マニュアルモード

### レファレンスカウンターについて [HELP](#) [FAQ](#)

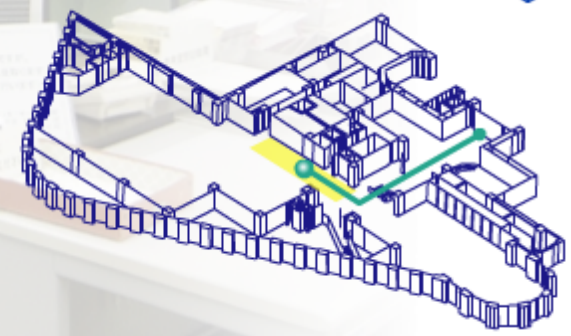
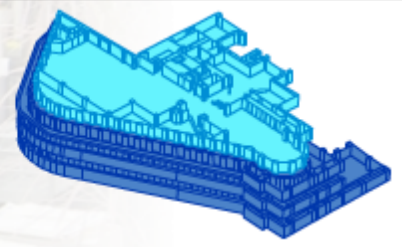
一階の中央には、レファレンスカウンターがあります。

調べもののアドバイスや文献入手のサポートを行います。お困りの際はレファレンスカウンターにお越し下さい。

F1 レファレンスカウンター

Top ◀◀ previous ◀▶ next ▶▶ Stop repeat ▶▶ AutoPlay ▶▶

- ▶ 中央図書館について
- ▶ 1階
- ▶ 地下1階
- ▶ 地下2階
- ▶ 地下3階



**PickUp**  
OPACの利用方法

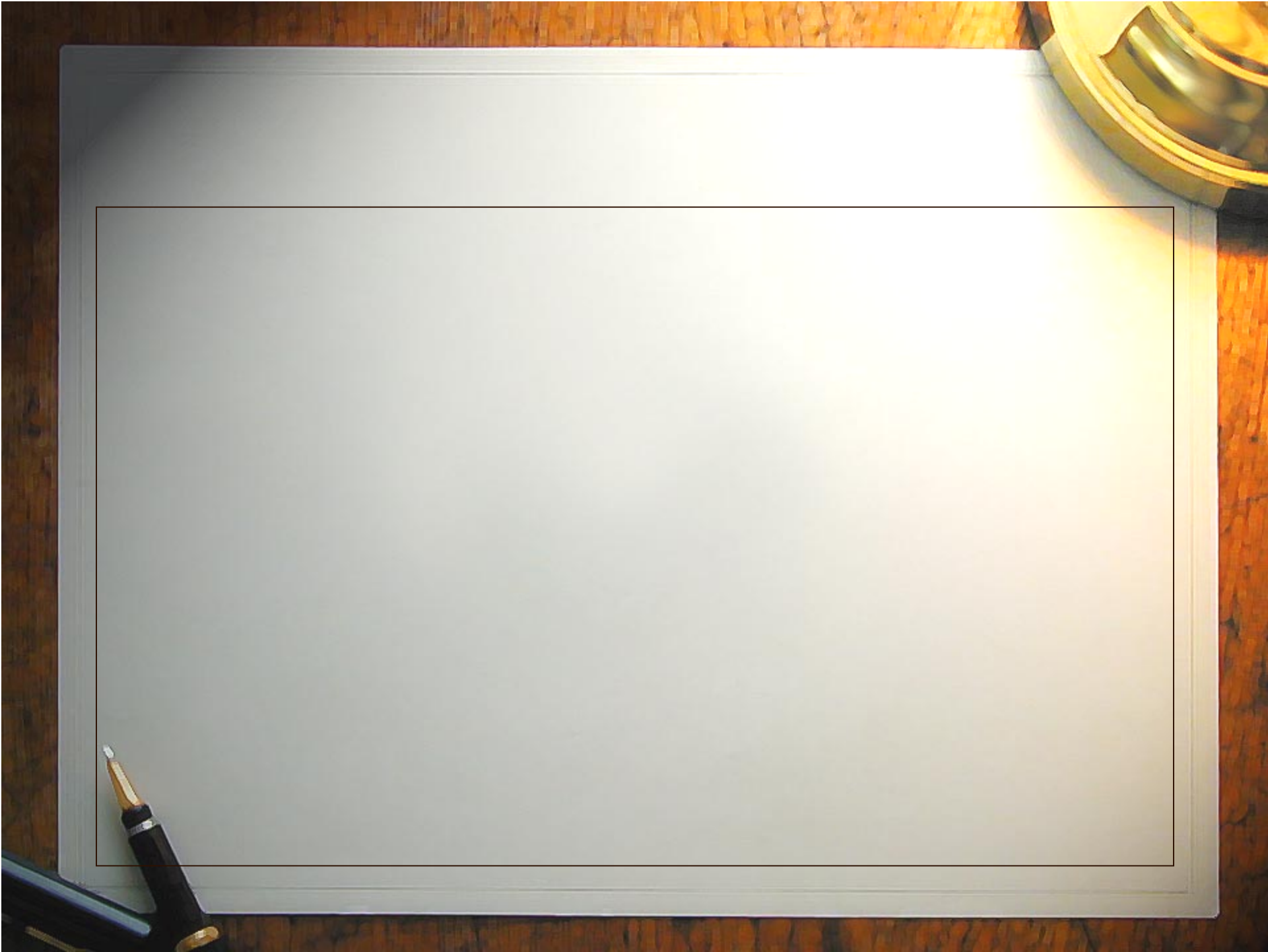
◀◀ 前の画面に戻る



Copyright (C) 2006 Meiji University. All Rights Reserved.

学外でも閲覧OK





図書館活用法は、  
教育効果の底上げに貢献し、  
「知識基盤社会」における  
知力を備えた強い「個」の  
創出につながる。